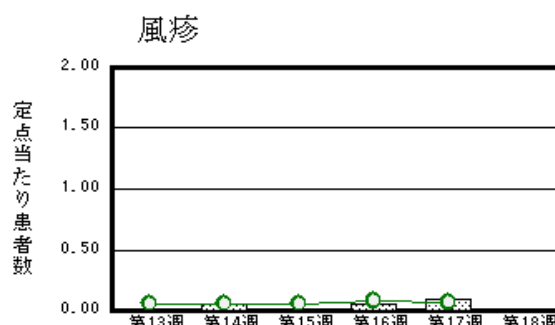
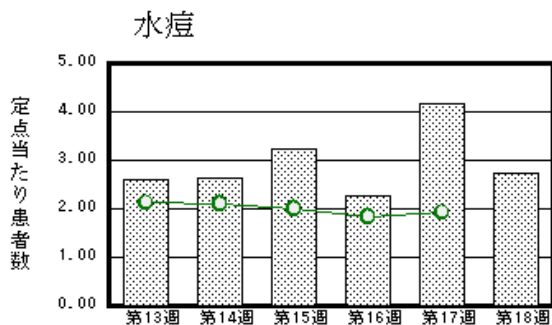
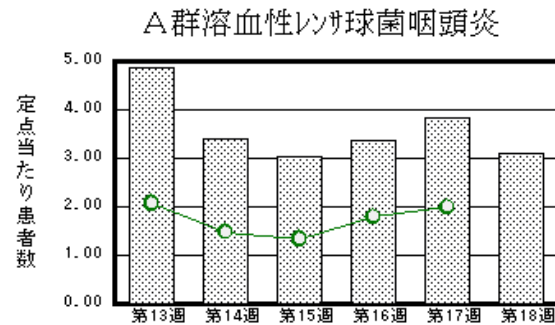
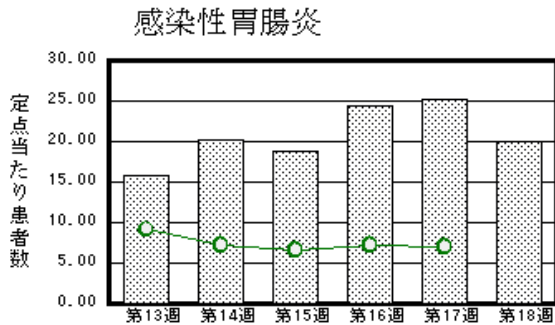


福井県感染症発生動向調査速報 <<平成16年>>

<週報> 第18週 (平成16年4月26日～5月2日) 発行日：平成16年5月6日
 発行：福井県福祉環境部健康増進課
 福井県衛生環境研究センター
 kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎439名(19.95名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎68名(3.09名)
 水痘 60名(2.73名) 咽頭結膜熱26名(1.18名) 伝染性紅斑18名(0.82名) ()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(439名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(68名) 水痘(60名)
 咽頭結膜熱(26名) 伝染性紅斑(18名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は減少しました。(556名 439名)定点あたり患者報告数でみると福井地区33.6名、丹南地区21.4名、二州地区16.7名、坂井地区は12.7名となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は減少しました。(84名 68名)二州地区で定点あたり4.3名、福井地区で3.8名、奥越地区で3.5名となっています。
- 【水痘】報告数は減少しました。(92名 60名)丹南地区で定点あたり5.0名と県内トップとなっており、続く奥越地区4.0名、二州地区3.3名となっています。
- 【咽頭結膜熱】報告数はわずかに増加しました。(25名 26名)定点あたり患者報告数は奥越地区2.5名、福井地区2.3名となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。
 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2004年第16週号(4月12日～4月18日)要点

発生動向総覧	<第16週> 風しんの定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向 <3月> 性感染症・薬剤耐性感染症・結核について
注目すべき感染症	<風しん> 風しんの発生状況 <腸管出血性大腸菌感染症> 第16週までの累積報告数は180例(昨年同時期141例)である
病原体情報	患者から分離・検出された病原体報告 - 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2003/04シーズン / インフルエンザウイルス2003/04シーズン
速報	冬季におけるA群コクサッキーウイルス16型の局地的流行-秋田県/埼玉県における風しんの流行状況とその対策
海外感染症情報	シエラレオネのKenema地区でラッサ熱発生/バングラデシュ(Faridpur)でのニパウイルス感染、診断確定/中国でのSARS患者発生
感染症の話	<今週はお休みさせていただきます>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

1類感染症:報告はありませんでした。
 2類感染症:報告はありませんでした。
 3類感染症:報告はありませんでした。
 4類感染症:報告はありませんでした。
 5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:5類感染症(週報分)] 平成16年 第18週 平成16年4月26日(月)~平成16年5月2日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(17週)	
インフルエンザ (32)	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)					5 1.67	2 0.25	7 0.22	10 0.31	1471 0.31	
小児科 (22)	RSウイルス感染症									50 (16週)	
	咽頭結膜熱	16 2.29	2 0.67		1 0.5	5 2.5	2 0.4	26 1.18	25 1.14	1130 0.37	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27 3.86	2 0.67	13 4.33	2 1	7 3.5	17 3.4	68 3.09	84 3.82	6052 1.99	
	感染性胃腸炎	235 33.57	38 12.67	50 16.67	2 1	7 3.5	107 21.4	439 19.95	556 25.27	21134 6.95	
	水痘	13 1.86	2 0.67	10 3.33	2 1	8 4	25 5	60 2.73	92 4.18	5851 1.92	
	手足口病								2 0.09	274 0.09	
	伝染性紅斑	8 1.14					10 2	18 0.82	21 0.95	1477 0.49	
	突発性発しん	4 0.57	1 0.33	1 0.33	2 1	2 1	3 0.6	13 0.59	8 0.36	2389 0.79	
	百日咳								5 0.23	61 0.02	
	風しん								2 0.09	203 0.07	
	ヘルパンギーナ		1 0.33				4 2	1 0.2	6 0.27	2 0.09	392 0.13
	麻しん(成人麻しんを除く)										79 0.03
流行性耳下腺炎	4 0.57		2 0.67				3 0.6	9 0.41	11 0.5	1787 0.59	
眼科 (3)	急性出血性結膜炎									9 0.01	
	流行性角結膜炎	1 0.50						1 0.33	1 0.33	554 0.87	
基幹 (6)	細菌性髄膜炎									5 0.01	
	無菌性髄膜炎									11 0.02	
	マイコプラズマ肺炎								1 0.17	71 0.15	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									2 0.00	
	成人麻しん									2 0.00	

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は第16週分である。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:5類感染症)

平成16年第18週 平成16年4月26日(月)～平成16年5月2日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満				13	1									6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満		1	1	32	4		2	8			1			12ヶ月未満								
1歳	1	1歳		6	2	77	7		2	5			1			1歳								
2歳		2歳		3	2	64	13		4				2		1	2歳								
3歳	1	3歳			16	58	12		3				2			3歳								
4歳		4歳		3	11	46	15									4歳								
5歳		5歳		5	10	43	5		1						2	5歳								
6歳		6歳		2	5	21	1		3						2	6歳								
7歳		7歳			7	19									1	7歳								
8歳		8歳		2	5	13	1		2						2	8歳								
9歳	1	9歳		1	6	16			1						1	9歳								
10～14歳		10～14歳		1	3	22	1									10～14歳								
15～19歳		15～19歳				2										15～19歳		1						
20～29歳	2	20歳以上		2		13										20～29歳								
30～39歳	2															30～39歳								
40～49歳																40～49歳								
50～59歳																50～59歳								
60～69歳																60～69歳								
70～79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計	7	合計	0	26	68	439	60		18	13			6	9	合計		1							
前期計	10	前期計	0	25	84	556	92	2	21	8	5	2	2	11	前期計		1				1			
当期間/前期	0.7	当期間/前期		1.04	0.81	0.79	0.65	0	0.86	1.63	0	0	3	0.82	当期間/前期	***	1	***	***		0	***	***	
増減数	-3	増減数		1	-16	-117	-32	-2	-3	5	-5	-2	4	-2	増減数						-1			

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

